



2018年3月期決算 事業方針と今後の取り組みについて

2018年5月14日 住友林業株式会社

代表取締役 社長 市川 晃

1.中期経営計画の進捗	2ページ
2.事業戦略	
・住宅・建築事業	5ページ
・海外住宅・不動産事業	7ページ
・木材建材事業	9ページ
・その他事業	10ページ
3.投資の状況	11ページ
4.熊谷組との協業について	12ページ
5.株主還元	14ページ
6.ESG・経営理念	15ページ

<19/3期予想と計画との比較>	19/3期予想	19/3期 中期経営計画
売上高	1兆3,100億円	1兆1,700億円
経常利益	575億円	550億円
親会社株主に帰属する当期純利益	315億円	315億円
ROE（自己資本利益率）	10.0%	10%以上

社会環境の変化を
先取りした戦略の推進

住友林業グループ 中期経営計画2018

グローバル市場での
多様な収益源の構築

木の資産価値の変革

中期経営計画の進捗

3

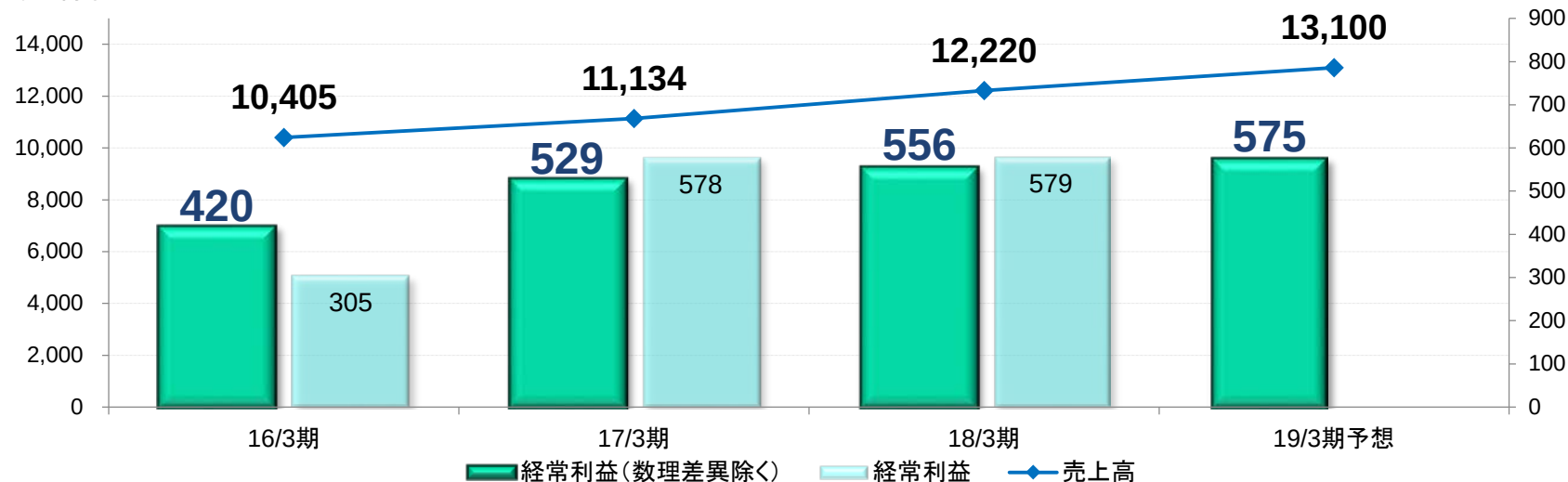
<数理差異除くベース>

(単位：億円)

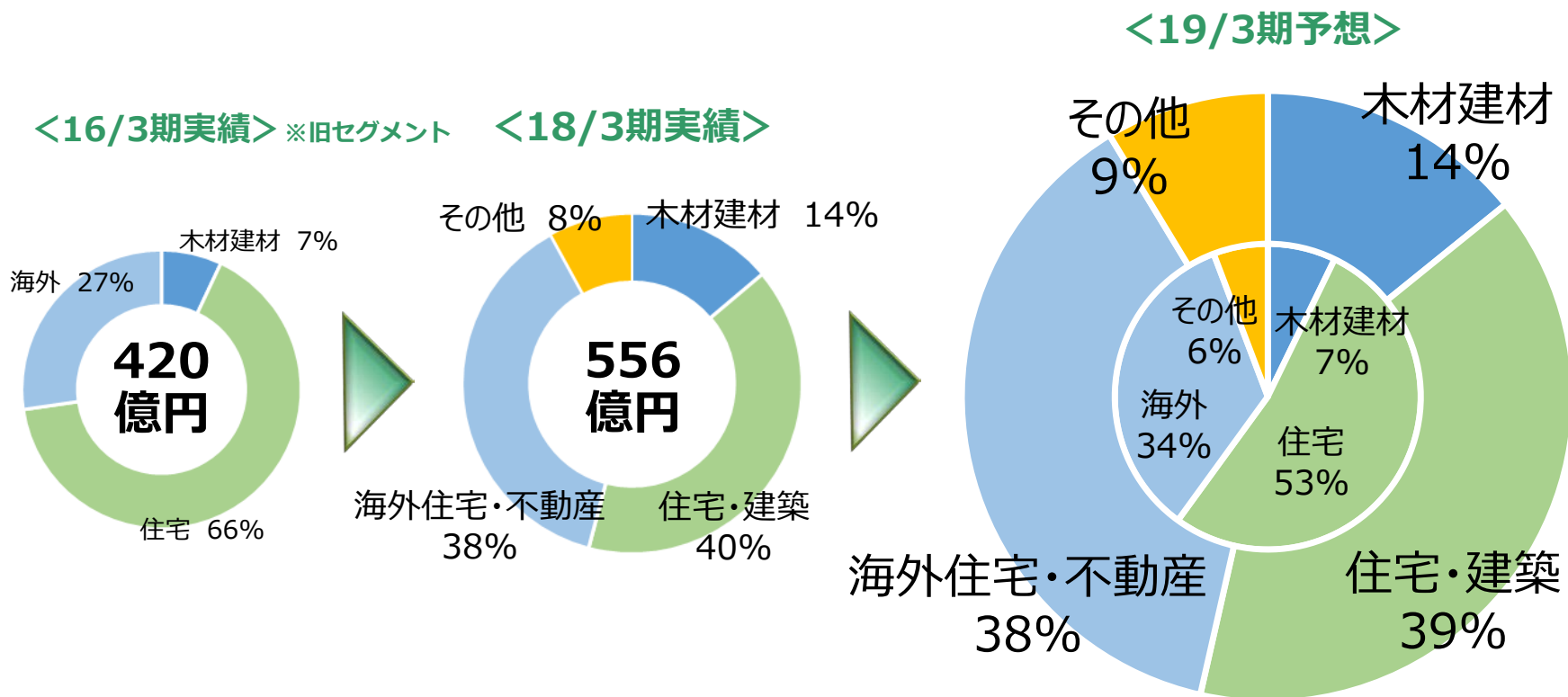
	16/3期実績	17/3期実績	18/3期実績 (新セグメント)	19/3期予想 (新セグメント)	19/3期 中期経営計画
売上高	10,405	11,134	12,220	13,100	11,700
木材建材	4,270	4,244	4,652	4,855	4,200
住宅・建築	4,546	4,663	4,492	4,710	4,850
海外住宅・不動産	1,879	2,479	3,060	3,485	2,940
その他	169	230	370	425	398
調整	△ 458	△ 482	△ 354	△ 375	△ 688
経常利益	420	529	556	575	550
木材建材	34	45	86	90	45
住宅・建築	315	323	249	250	330
海外住宅・不動産	131	193	235	240	214
その他	△ 10	22	49	55	36
調整	△ 49	△ 55	△ 64	△ 60	△ 75

左軸：売上高(億円)

右軸：経常利益(億円)



セグメント別経常利益構成比の推移 ※



※全社経常利益は数理差異を除くベース

※18/3期実績及び19/3期予想は新セグメントによる構成比

※円グラフの比率は、事業セグメント別の経常利益
(連結経常利益 - 「調整」および「セグメント利益マイナス分」) で算出

19/3期予想(外側) **575億円**

中期経営計画(内側)

19/3期

550億円

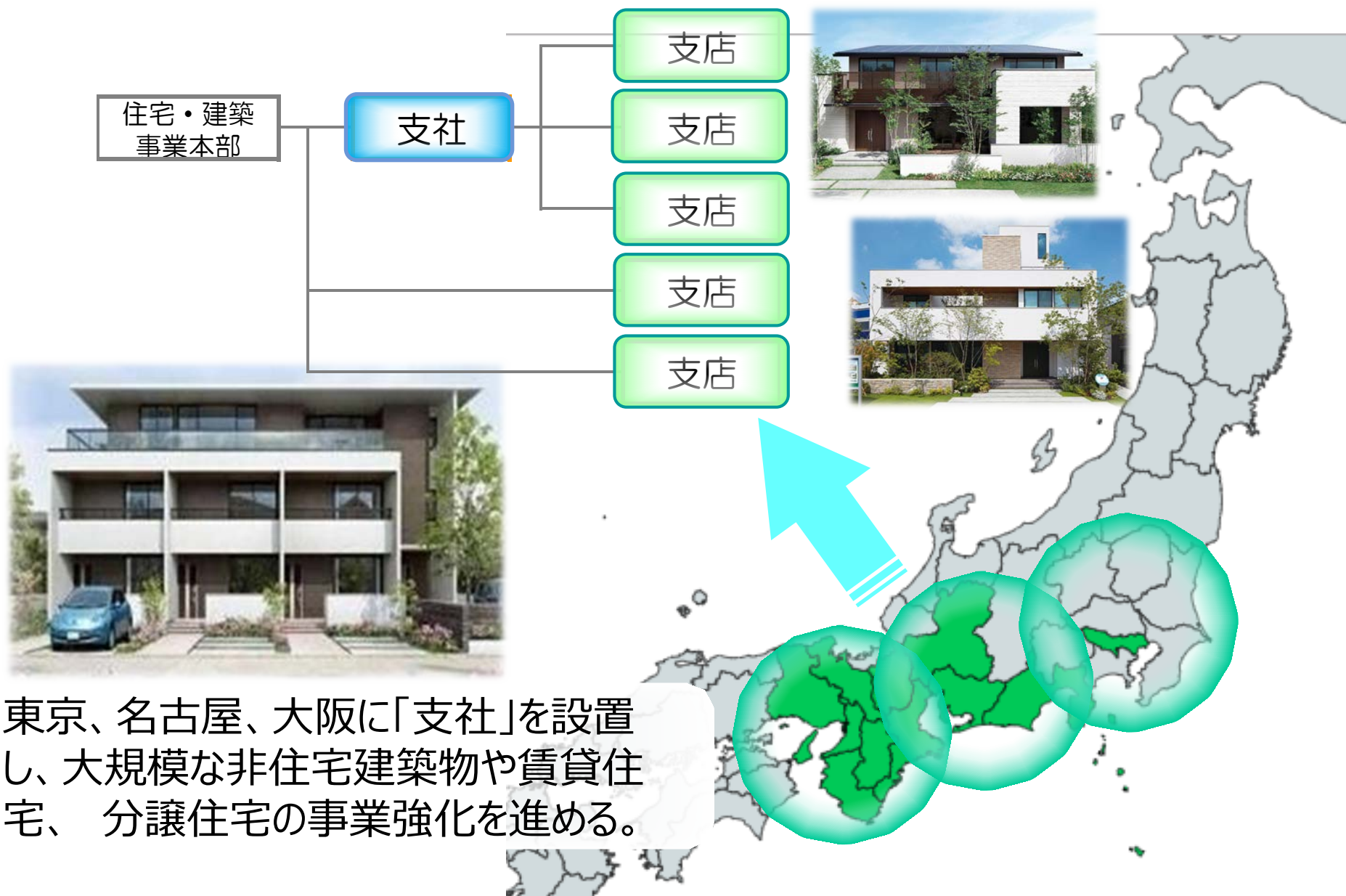


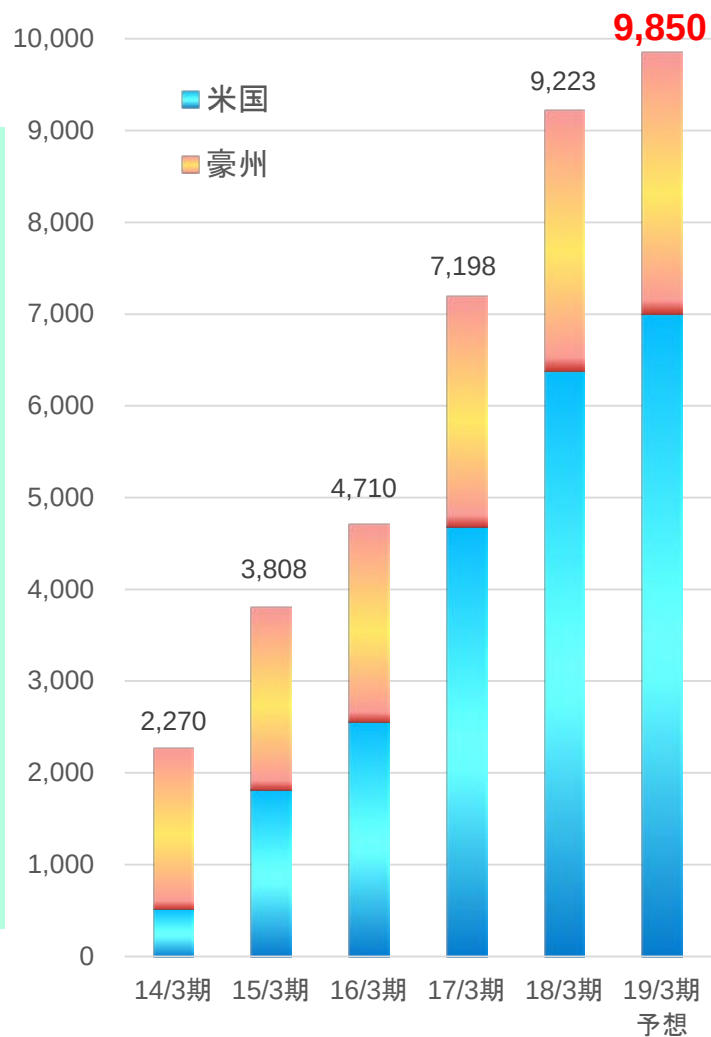
駒沢第3住宅展示場



- ・商品・サービス・コスト等、家作りの全てを総点検し、お客様最優先を基本に受注を立て直す
- ・年間9,000棟の販売体制を構築

国産ナラの内装材
(2018年4月発売)





《海外住宅事業 国別販売戸数推移》



Crescent Communities
賃貸住宅・商業施設開発



アジア

- 戸建住宅分譲事業
- マンション/複合開発事業
- 中国木造・内装事業
- 設計/設計支援事業

北米

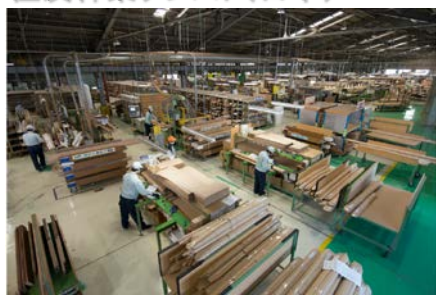
- 戸建住宅分譲事業
- 宅地開発事業
- 賃貸住宅事業

豪州

- 戸建住宅事業
- 宅地開発事業
- 集合住宅/複合開発事業
- 住宅緑化事業



住友林業クレスト(日本)



Vina Eco Board(ベトナム)



KTI 他(インドネシア)



シンガポール



Canyon Creek Cabinet(米国)



NPIL(ニュージーランド)



製造から流通・販売までの一貫体制とすることで、
グローバルに戦略を共有し、収益最大化を図る

高齢者介護施設(グランフォレスト学芸大学)



ニュージーランド山林

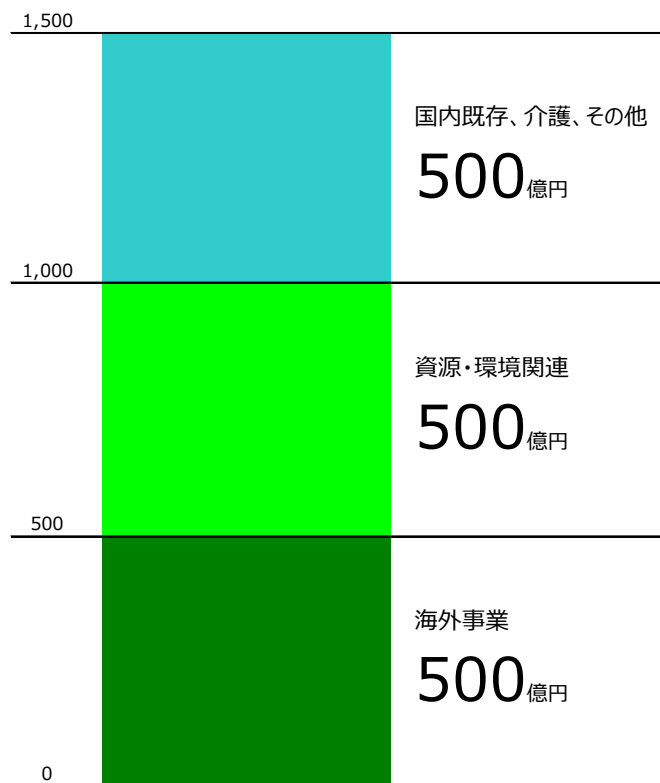
2018年4月八戸バイオマス発電所 営業運転開始



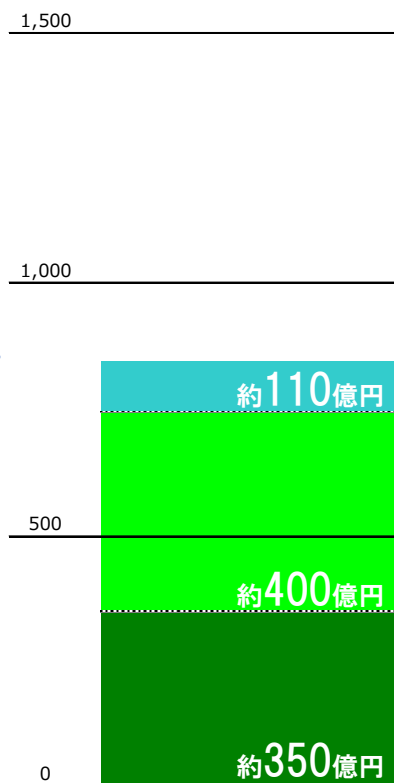
《バイオマス発電所4施設合計 発電規模100MW》

長期的視点から事業を推進

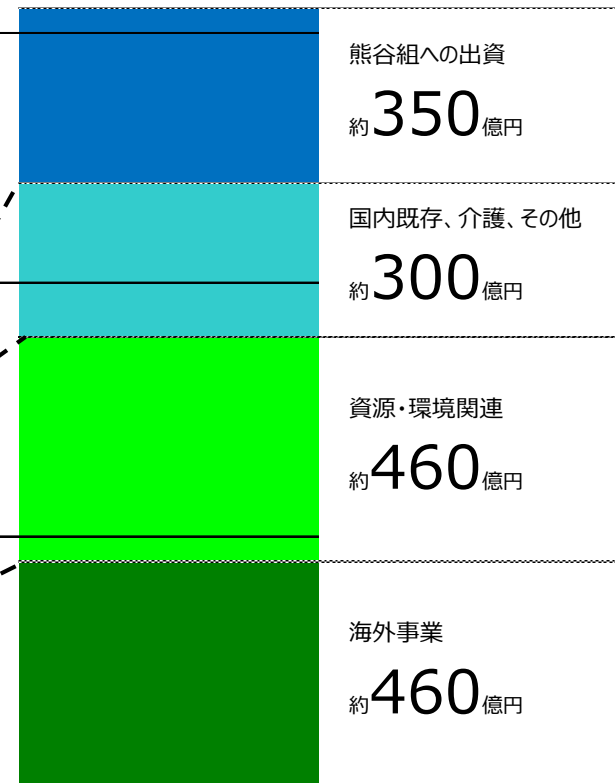
中期経営計画 3年間合計1,500億円



17/3期 約860億円



18/3期時点 約1,570億円



シナジー効果目標

売上高 1,500億円
営業利益 100億円

協業分野

検討分科会

具体的なテーマ

木化・緑化関連
建設事業

大規模木造建築分科会

非住宅建築、木質化、W30実施計画

緑化土木分科会

都市開発、宅地造成

森林保全分科会

山林事業の生産性向上

再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー分科会

バイオマス・風力・太陽光等発電

海外事業

海外建設・開発分科会

住宅開発、高齢者施設

周辺事業領域

リノベーション分科会

宿泊施設・その他非住宅リフォーム

資材流通分科会

建築資材の流通

共同研究開発

研究開発分科会

W350計画実現に向けた技術開発



フレーバーライフ社
本社ビル



高める、つくる、そして、支える。



熊谷組

《協業案件：建築分野》

- ・学校施設
- ・開発プロジェクト

協業案件の積み上げ進捗（売上高換算）

200～300億円

《協業案件：リノベーション分野》

- ・ホテル
- ・高齢者介護施設

《協業案件：再生可能エネルギー分野》

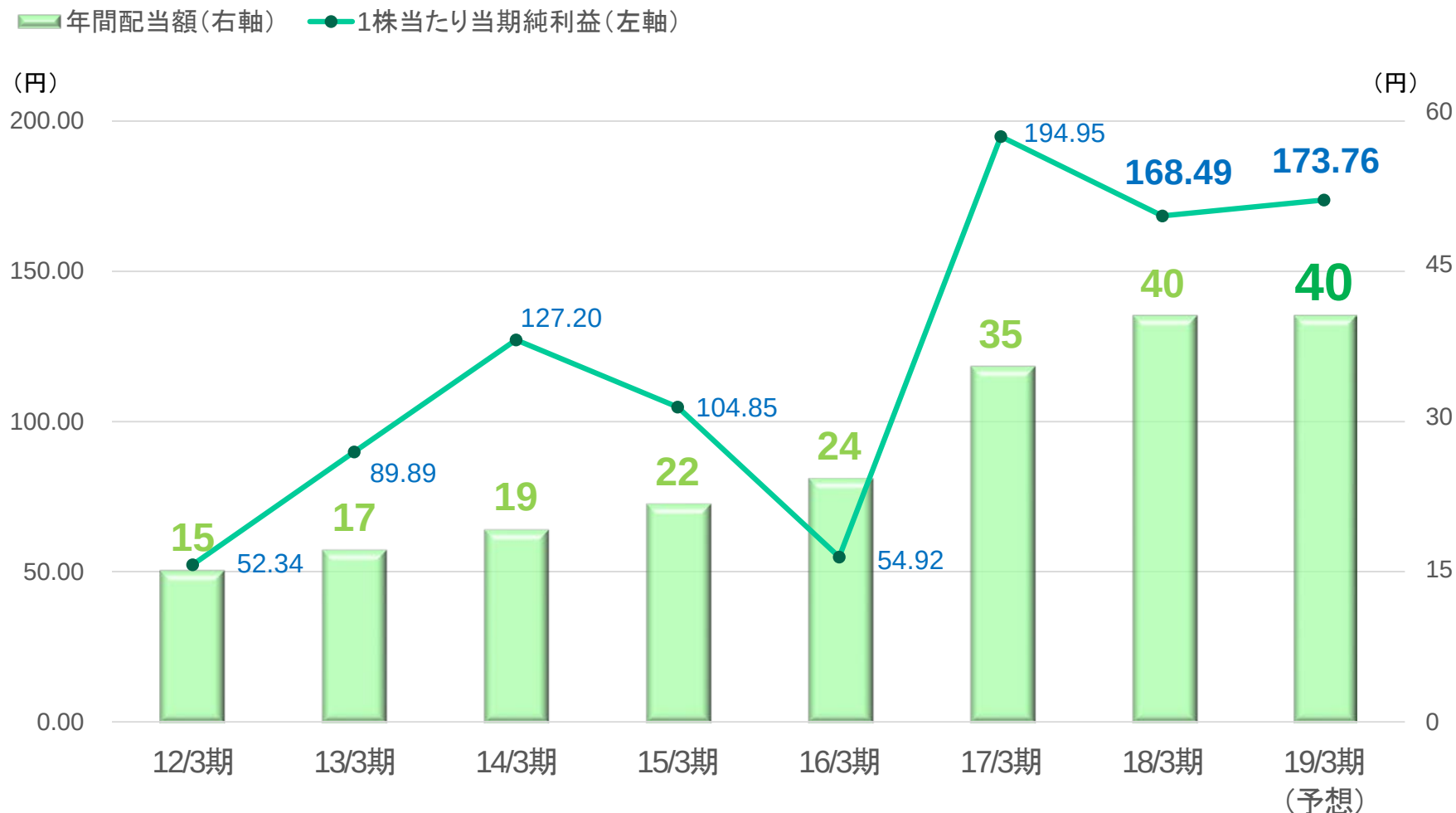
- ・バイオマス発電



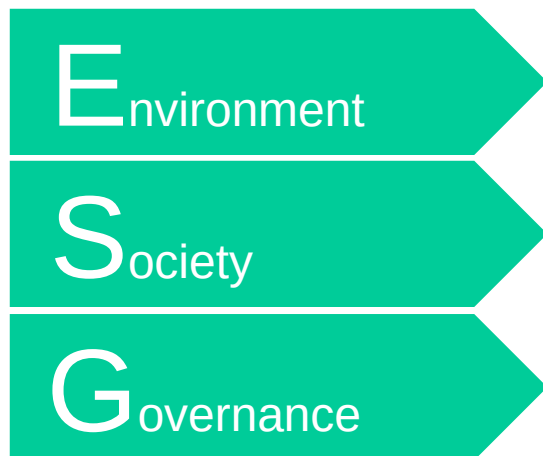
TAIPEI 101



W350計画



継続的かつ安定的な配当が基本方針
今期の年間配当額は40円とする予定



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



《経営理念》

住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという「住友の事業精神」に基づき、人と地球環境にやさしい「木」を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。



(住友史料館所蔵)



現在の別子銅山
(愛媛県新居浜市)

《当社に対する外部評価》



木と生きる幸福

住友林業グループ

ご清聴ありがとうございました。